

神奈川県が開発した「湘南ゴールド」の産地化に取り組んでいます

足柄地区事務所

「湘南ゴールド」は、鮮やかな黄色の皮と、甘みと酸味のバランスのとれたさわやか味が特徴の新しいカンキツです。不知火、清見に続いて4月に収穫できます。

本県では県民の皆さんに年間を通じて、様々なカンキツを食べていただけるよう品種開発をしています。その中の一つとしてゴールドデンオレンジとミカンを交配して「湘南ゴールド」を育成しました。



栽培指導の様子

今年4月に初めて市場出荷をし、好評を得ました。

農業技術センター足柄地区事務所では、栽培講習会、検討会を通じて適切な防除法や剪定方法を指導しています。また生産者の協力を得て、果実の大きさを揃える技術の確立を進めています。

このような活動により、「湘南ゴールド」の栽培面積の拡大を図り、神奈川県の特産物となるよう取り組んでいます。



湘南ゴールド

トマト黄化葉巻病が県内に発生しました

～トマト黄化葉巻病の蔓延を阻止しましょう～

平成17年秋、施設トマトにおいて黄化葉巻病が県内で初めて発生したことを確認しました。

病原はトマト黄化葉巻ウイルス (Tomato yellow leaf curl virus ; TYLCV) で、タバココナジラミ (これまでシルバーリーフコナジラミと呼ばれていたものです) によって媒介されます。

土壌伝染、種子伝染、管理作業による伝染はありませんので、タバココナジラミの防除が本病害に対する防除の要となります。

世界的にも温暖な地域ではトマトの重要な病害のひとつであり、本県においても蔓延すると被害が大きくなることが懸念されます。被害を少なくするためには早期発見と適切な防除対策を行う必要があります。

- 1 媒介虫であるコナジラミ類の防除を徹底する (オンシツコナジラミはこのウイルスを媒介しませんが、外見で区別するのは難しいため)。
- 2 発病株は伝染源となるので抜き取り、放置せずに土中に埋める。
- 3 コナジラミの発生源となる雑草の防除を徹底する (施設内外)。
- 4 施設の開口部に防虫ネット (0.4 mm目以下が望ましい) を張る。
- 5 収穫終了後には施設を密閉して蒸し込み処理などを行い、コナジラミ類を死滅させ、施設外に出さない。

以上の防除対策を徹底して、本県におけるトマト黄化葉巻病の蔓延を阻止しましょう。

農業環境研究部



トマト黄化葉巻病 (抑制栽培トマト)



オンシツコナジラミ

タバココナジラミ